



IXIL オープンウィンフールディング「障子」 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本製品は、躯体の上部に全荷重（最大200kg）がかかります。躯体の補強が行われていることを確認した後、障子を取付けてください。万一、躯体の補強が行われていない場合は、「枠 取付け説明書」にしたがって躯体の補強をしてください。

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■取付け上のお願い

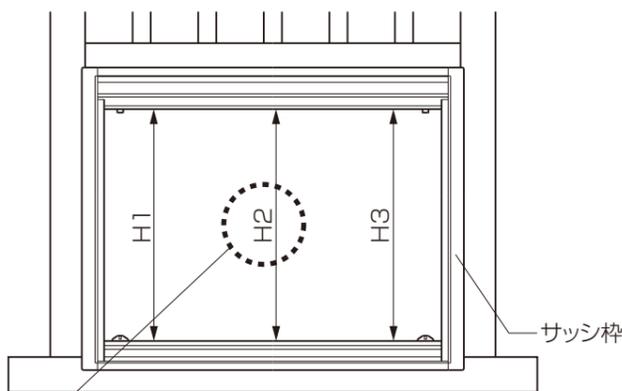
- 障子のガラス入れは、障子を枠に吊込み後、行ってください。ガラスを先に入れてから障子の吊込みを行うと、障子重量が大きくなり、作業性が悪くなるおそれがあります。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

■ねじ一覧表

①	②
ナベタッピンねじ φ4×10 (3種)	ナベテクスねじ φ4×13

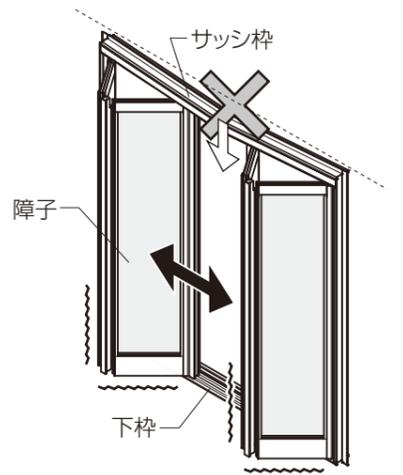
■枠中央部H開口の確保

●本製品は上吊りのため躯体の下がりも考慮して枠の中央部の開口寸法（H2）が両端部の開口寸法（H1・H3）より小さくならない（下がない）ように、枠を躯体に取付けてください。



両端部に対して+4mm~-0mmになるよう、枠を持上げてください。

※枠垂下がりにより、障子と下枠がこすれ異音が発生する原因になります。

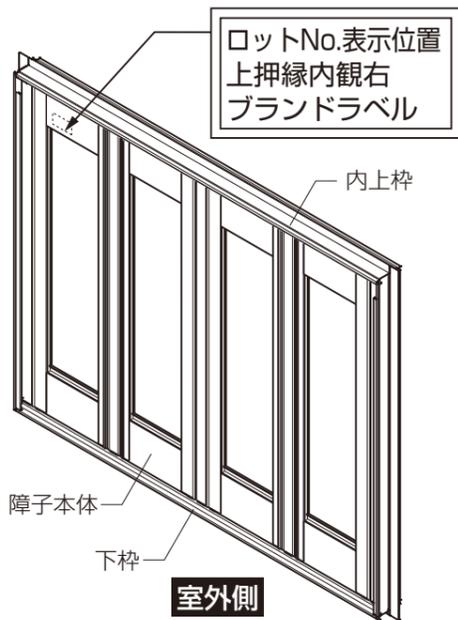


お願い
※中央部の開口寸法は、使用年数の経過による躯体の下がりも考慮して、+方向に取付けてください。

■取付け順序

1 障子の吊込み

●障子をサッシ枠に吊込みます。

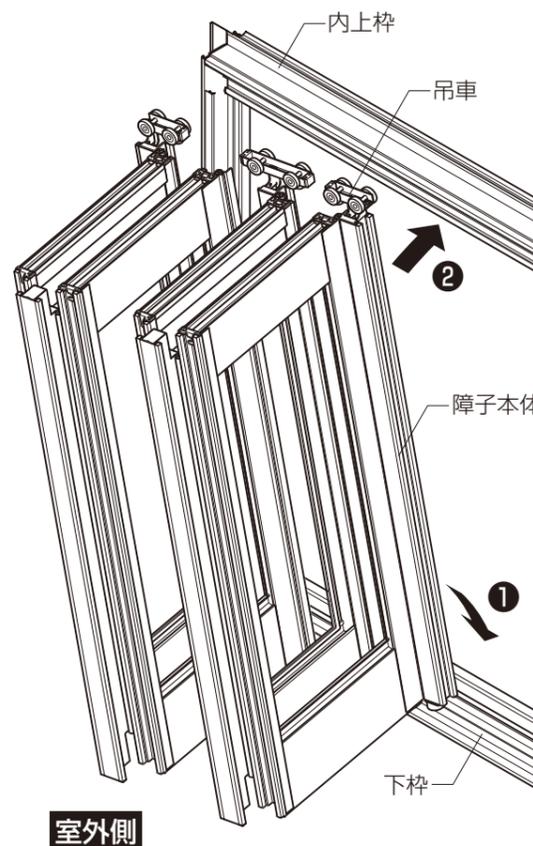
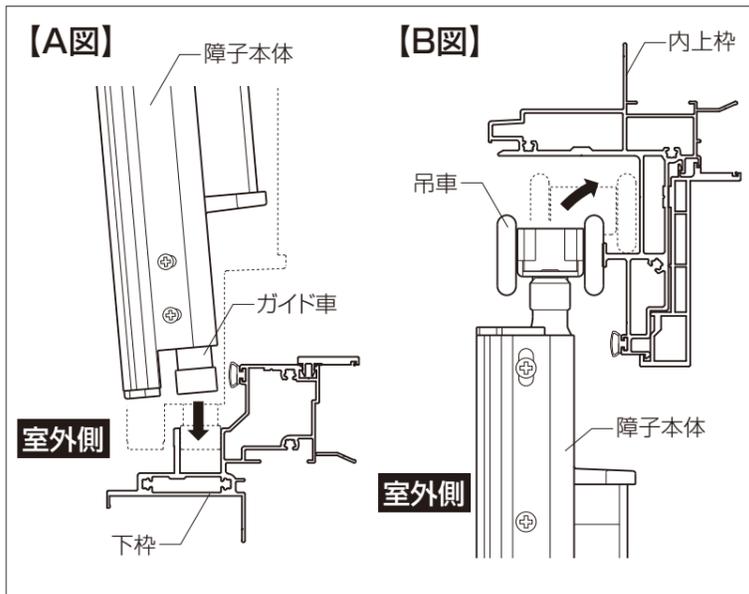


お願い
※ガイド車を下枠に入れる際、型材どうしがぶつからないようにしてください。製品にキズが付くおそれがあります。

■取付け詳細

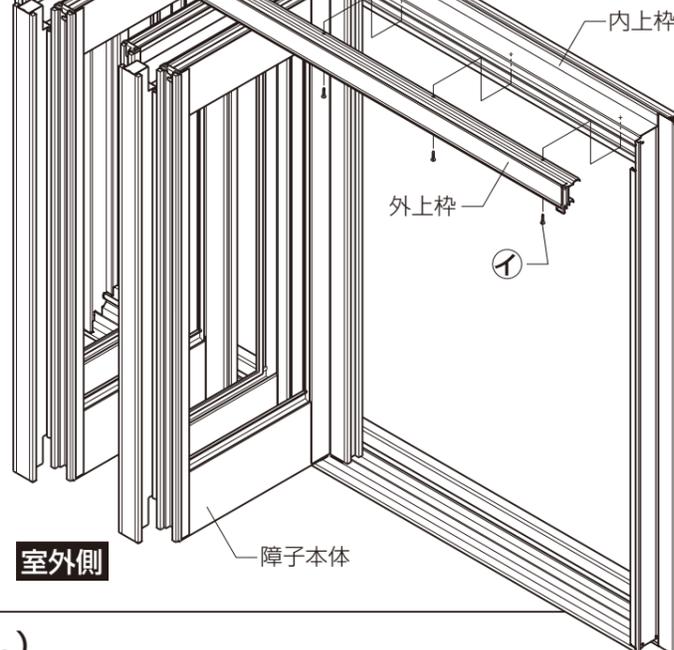
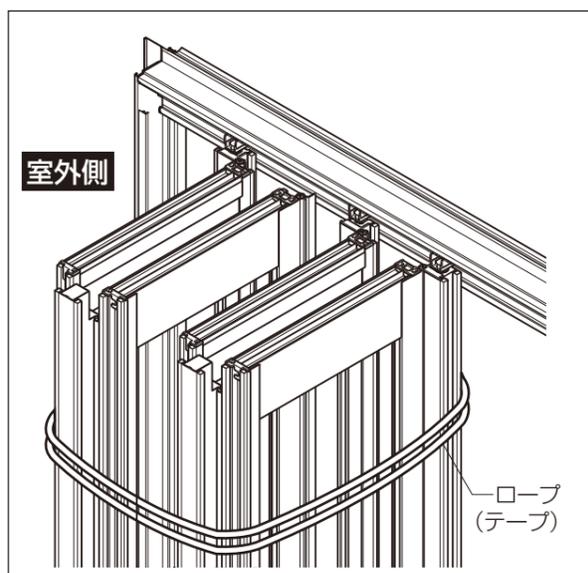
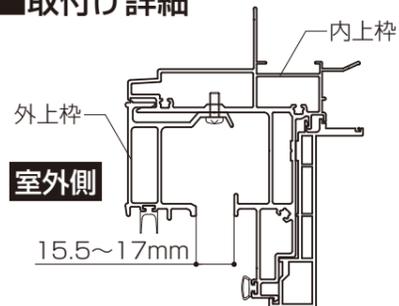
1 障子の吊込み

- ①障子（エンド・センターマリオン）下側のガイド車を下枠レールに入れてください。（A図）
- ②障子本体を垂直にし、吊車を内上枠に押当てた状態（B図）で障子本体を少し持ち上げて、吊車を内上枠のレールに乗せてください。
※吊車が内上枠レールのフィンに引っ掛かって外れないことを確認してください。



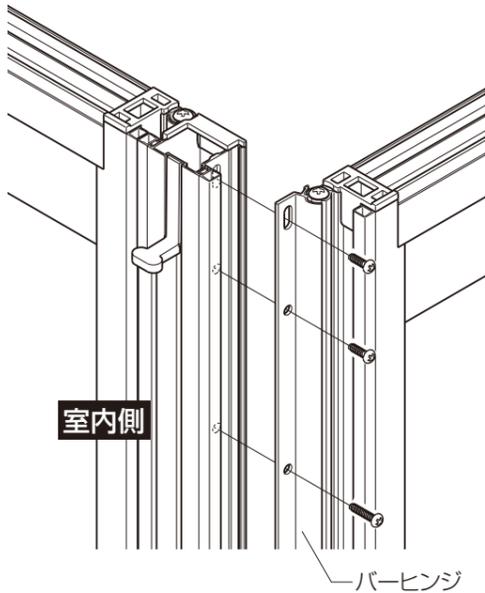
- ③障子をすべて内上枠に吊込み左右のどちらかに寄せ、柱にロープ又はテープで倒れないようにくりつけてください。
- ④外上枠を内上枠にねじで取付けてください。
※外上枠を押し込んだ状態でねじ止めしてください。
- ⑤内上枠と外上枠のすき間が15.5~17mm以内か確認し、17mm以上の場合は、外上枠を押し込んで、ねじを締めなおしてください。

■取付け詳細



■障子の連結

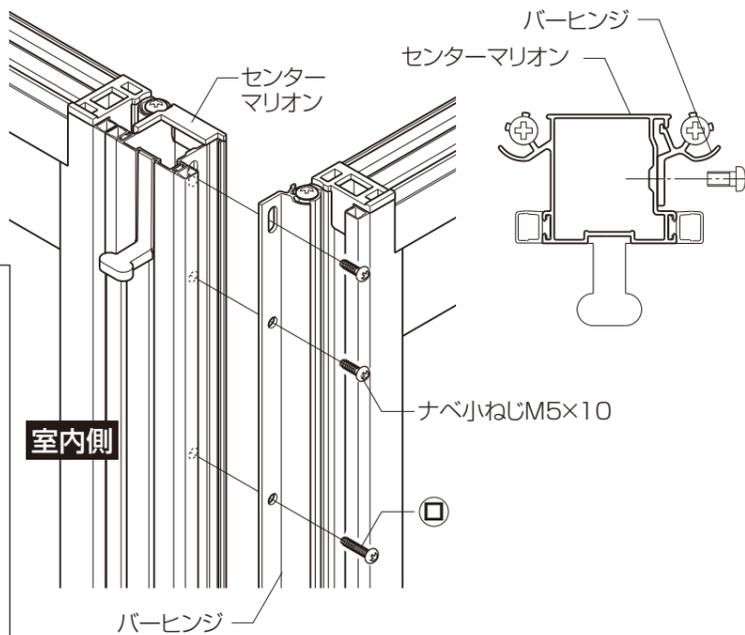
●障子を連結します。



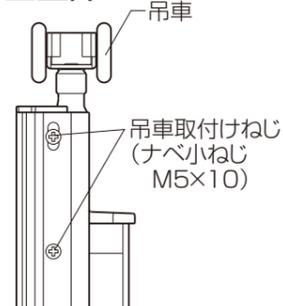
■障子の連結 (6枚建てのみ実施願います。)

- ①障子を連結する前に、センターマリオンのバーヒンジ取付け面にある吊車・ガイド車組付けねじを取外してください。
※取外したねじはバーヒンジ取付けに使用します。
- ②センターマリオンにバーヒンジを引っ掛けるようにしてねじで取付けてください。

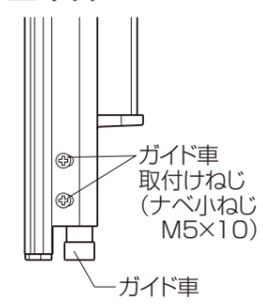
■取付け詳細



■上部



■下部



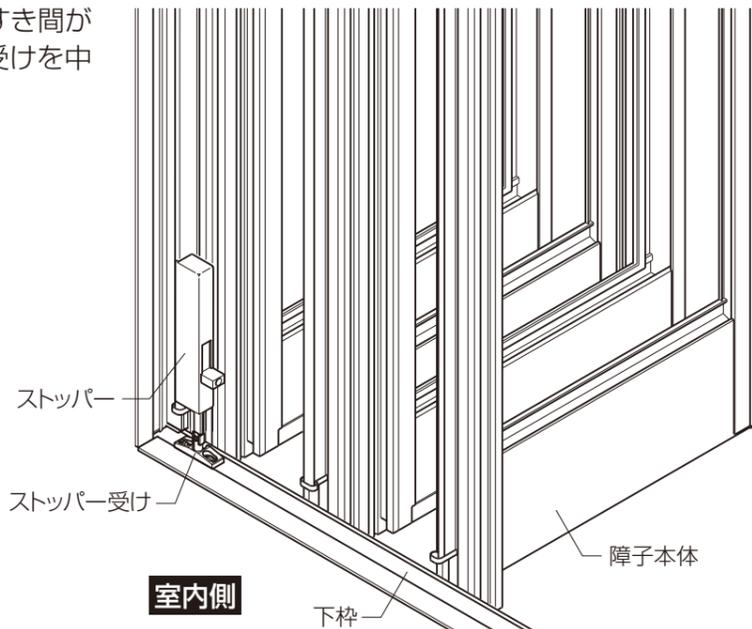
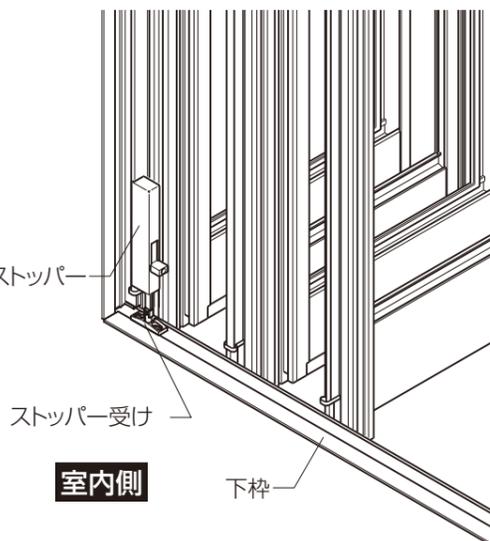
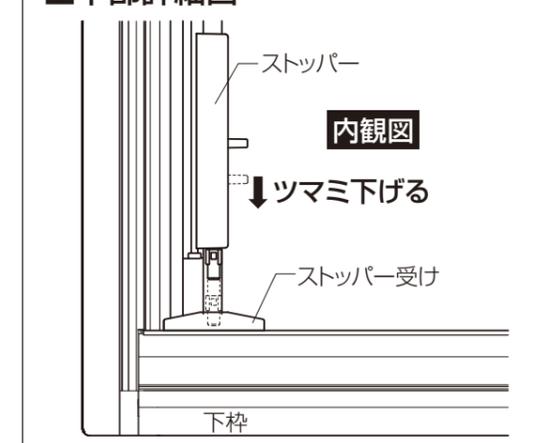
■障子の固定

●障子を固定します。

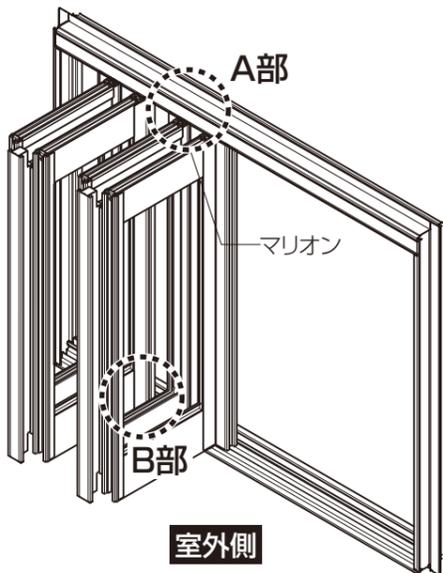
■障子の固定

- ①障子を全閉して施錠します。この状態で下側ストッパーのつまみを下げて、シャフトが入る位置にストッパー下受けを左右方向へ調整し、ねじで固定してください。
- ②シャフトの長さが合わない場合は、ストッパー本体を取付けているねじをゆるめて上下方向(±5)へ調整し固定してください。中央部も同様に調整してください。
※ストッパー受けに固定後、障子全閉時合掌部にすき間があくことがありましたら左右端部のストッパー受けを中央に寄せてください。

■下部詳細図

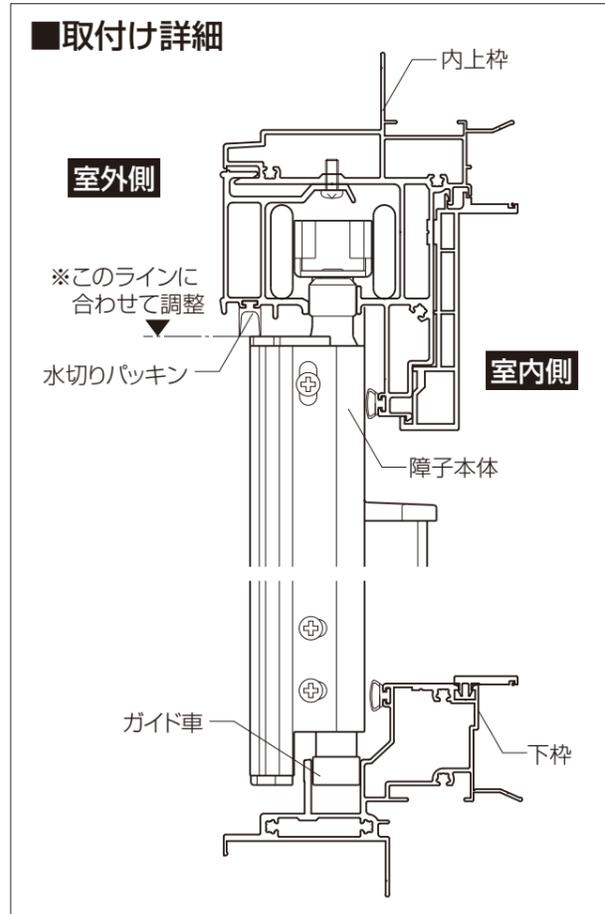


4 障子の調整



4 障子の調整

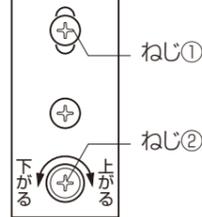
- ① Marionを固定している上部の長穴部分のねじをゆるめてから調整してください。
- ② 外上枠の水切りパッキンと障子本体の上面が水平になるように、Marion上部にあるラベルの指示にしたがって高さ調整を行ってください。
※調整ねじが回らない場合は、さらに下のねじ（両側2カ所）もゆるめます。又、サイズ・ガラス厚によっては障子を上げにくいので、障子の下に木片などを入れて、重量を軽減すると調整が容易に行えます。
- ③ 調整後、ゆるめた長穴部分のねじを締めてください。
※調整後、障子を開閉して動作確認を行ってください。



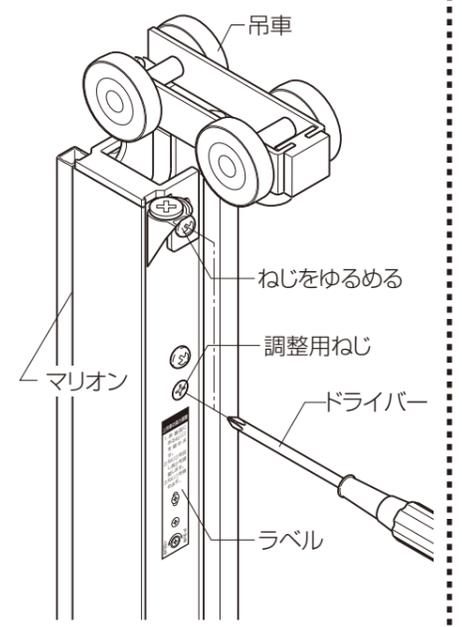
■建付け調整ラベル

上吊車の高さ調整

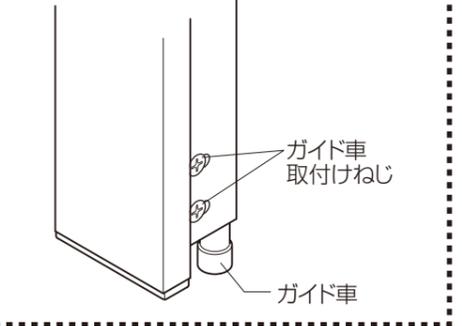
1. 表・裏面にあるねじ①を緩めます。
2. ねじ②を回し高さを調整します。
3. ねじ①を締めます。



■A部詳細図



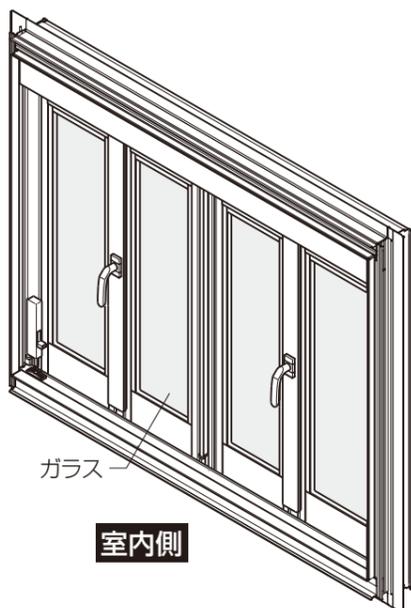
■B部詳細図



- ④ 障子開閉がスムーズでない場合は、Marionの下部にあるガイド車取付けねじをゆるめてから調整し、ねじを締めてください。

5 ガラス入れ

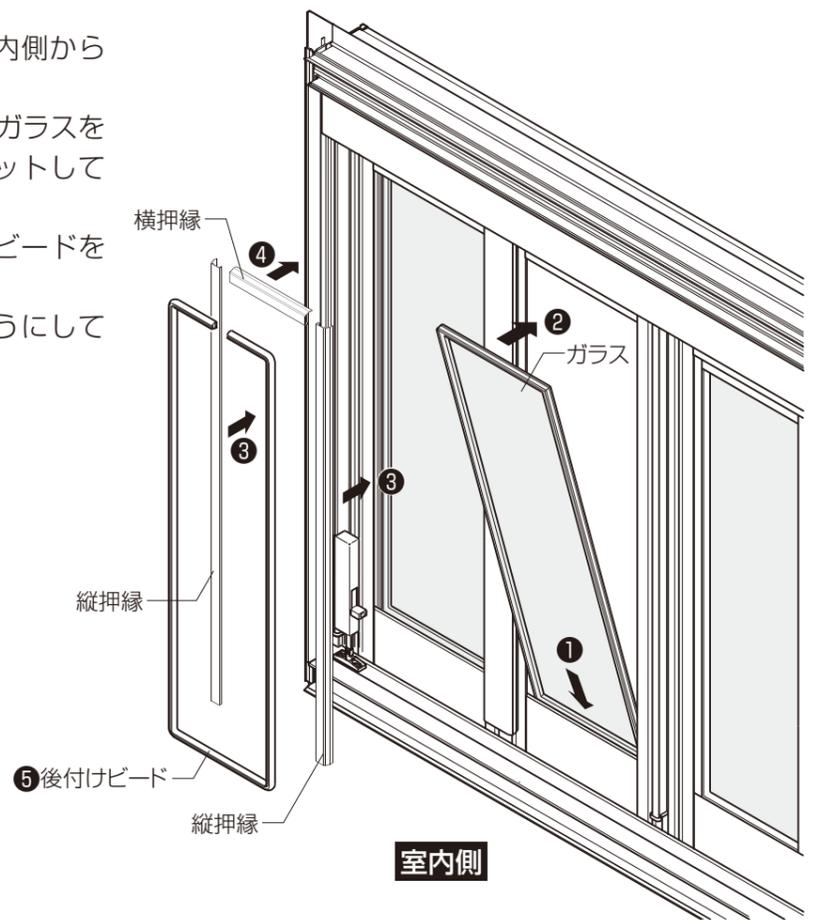
- ガラスを障子に入れます。



5 ガラス入れ

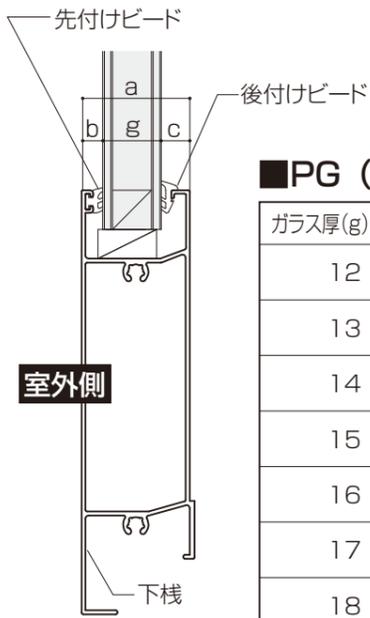
- ① ガラスを入れる障子を閉じて施錠し、室内側からガラスを入れてください。
※セッティングブロックは3カ所ですので、ガラスをセッティングブロックに当てるようにセットしてください。
- ② 押縁を縦枠、上棧の順に取付けて後付けビードを回してください。
※ビードの継ぎ目がガラスの中央にくるようにしてください。

■セッティングブロック取付け位置



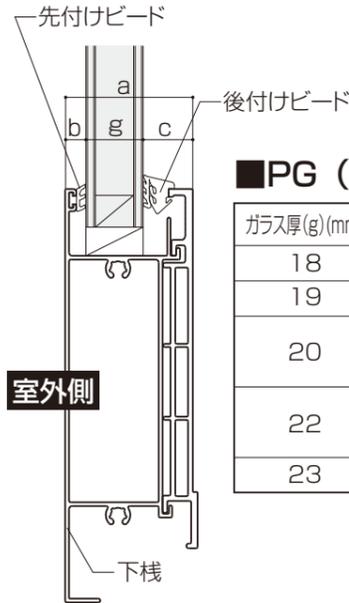
■ガラスビードの使用区分
(デュオPG)

■ガラスビードの使用区分
(シンフォニー)



■PG (12mm空気層複層ガラス) a=24

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成例	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
12	3-6-3	3	9
13	3-6-4	3	8
14	3-6-5 4-6-4	3	7
15	4-6-5	3	6
16	3-6-6.8 5-6-5	3	5
17	4-6-6.8 5-6-6	3	4
18	5-6-6.8 3-12-3	3	3



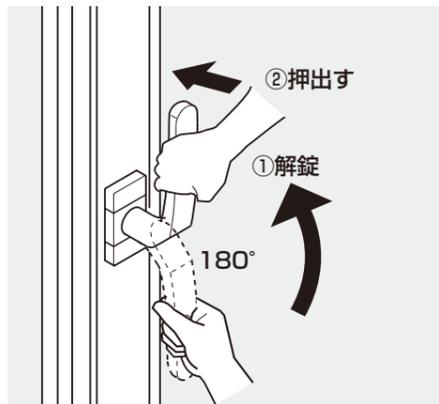
■PG (12mm空気層複層ガラス) a=29

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
18	3-12-3	3	8
19	3-12-4	3	7
20	3-12-5 4-12-4	3	6
22	3-12-6.8 5-12-5	3	4
23	4-12-6.8	3	3

■ハンドル操作方法

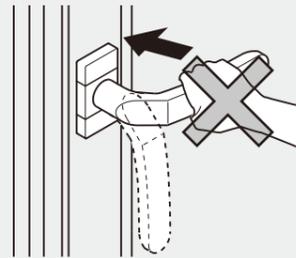
■解錠の仕方

- ①ハンドルを180度回転させます。
- ②障子を押し出します。



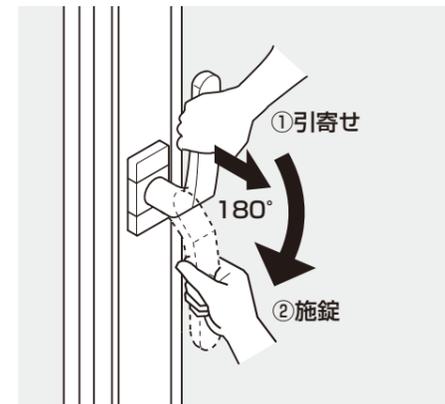
▲注意

●ハンドルを180度回転させないで押し出すと、ガラス損傷、気密材が切れて漏水のおそれがあります。



■施錠の仕方

- ①障子を室内側へ強めに引寄せます。
- ②ハンドルを180度回転させます。



●お願い
※障子を室内側へ引寄せしていない状態で無理に操作しないでください。施錠機構が変形し開閉が重くなる場合があります。

